

# 平成28年度 健康福祉部 方針書

健康福祉部長 三浦 淳

## 1. 部の使命（役割）

市民が安心して、健康に生活できるための、あるべき公助の展開を図る。

## 2. 平成28年度における課題（前年度の振り返りから）

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた生活支援体制の整備と新しい総合事業によるサービスの展開
- ・子ども子育て支援事業の計画初年度の取り組み
- ・認知症対策の推進
- ・健診受診率の向上
- ・直営施設の民間移行の検討

## 3. 平成28年度の『スローガン』

計画性と持久力を持って、相互に連携しながら、市民満足度及び組織力の向上を目指そう。

## 4. 年度目標となる方針（目標）

- ～年度方針のキーワード～「連携」、「計画」、「予防」、「初動」
- ◇市（地域）の今後を見据えた優先度の高い市民サービスの提供
  - ◇市民との協働による公助の追求

## 5. 重点取組項目

|     |      |   |
|-----|------|---|
| (1) | 項目   | 子育て支援の充実  |
|     | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの貧困対策に係る市内体制の整備と計画の策定</li><li>・学童保育対象年齢の拡大へ向けた取り組み</li><li>・保護者と子どもにとって安心できる教育、保育の場と施策の提供</li></ul> |
| (2) | 項目   | 健康でいきいきとした高齢社会の推進   |
|     | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・地域包括ケアシステムの構築と総合事業によるサービスの展開</li><li>・新オレンジプランに基づく認知症対策の推進</li><li>・在宅医療、介護連携推進事業の展開</li></ul>         |
| (3) | 項目   | 健康な心と体づくりの推進  |
|     | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・生活習慣の改善を核とする一次予防の推進</li><li>・各種検診（健診）受診率の向上に向けた取り組み</li><li>・少子化対策としての不妊治療費助成等の継続</li></ul>            |

## 6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況【現状】

- ・子どもの貧困対策における庁内WGを設置、県及び市によるアンケートを実施。
- ・学童保育事業の対象年齢引き上げについて2施設が夏季から実施。また、H29年度に向けた意向調査を実施。
- ・地域包括ケアシステムの構築等に係る生活支援協議体(2層)の設置推進、研修、地域座談会を実施。
- ・認知症対策について、物忘れ相談健診を実施。
- ・一次予防の推進について、食習慣調査や若年世代への高血圧予防情報の提供等を実施。
- ・障害者支援施設の指定管理に係る公募を実施。
- ・直営福祉3施設の今後の方向性について、庁内検討会議を設置。

## 7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

- ・子どもの貧困対策推進計画の年度内の策定。
- ・公立保育所民営化等計画の年度内策定に向けた庁内及び外部との調整。
- ・生活支援協議体(2層)の全地域設置に向けた調整と生活支援コーディネーターの配置。
- ・認知症初期集中支援チームの最終調整と活動開始。
- ・第7期介護保険事業計画策定に向けたアンケートの実施と庁内による事業内容の検討。
- ・がん検診率向上のための年代別受診動向分析に係る協会けんぽとのデータ提供依頼等の調整。
- ・在宅介護、医療、福祉の多職種連携に向けた研修会の開催。
- ・障害者支援施設の指定管理に係る情報収集と再調整。
- ・直営福祉施設(ひらか荘)の今後の方向性に係る事務レベルの意見集約と庁内調整。

## 8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

- ・子どもの貧困対策の策定を完了。
- ・学童保育事業の対象年齢引き上げで、3施設が実施開始。H29年度は更に3施設の拡充を目指す。
- ・公立保育所民営化等計画の策定を完了。H29年度から3保育所の調整等を進める。
- ・生活支援協議体(2層)は雄物川地域を除いて設置した。残る雄物川地域の設置と生活支援コーディネーターの配置がH29年度の課題となる。
- ・第7期介護保険事業計画策定に係るアンケートの実施を完了。この分析等を踏まえたH29年度の計画策定。
- ・認知症初期集中支援チームは11月から西部地域で稼働開始。H29年度は、全地域における集中支援チームの稼働開始に努める。
- ・認知症対策では、物忘れ相談健診を実施。
- ・協会けんぽデータの内容などからその分析開始が年度後半からとなった。H29年度もデータ分析を継続し、その完了後に、がん検診年代別受診動向の分析を進める。
- ・多職種連携研修会を開催している。情報交換等のニーズが多いので、H29年度継続並びに充実に努める。
- ・障害者支援施設の指定管理に係る情報収集を継続し、H29年度の再公募に向けて準備調整に努める。
- ・ひらか荘の方向性に関して、議会へ中間報告を実施。今後、H29年度上半期を目途に方向性の決定を図る。